

## 【開催要旨】

第11回 木曽川上流水防災協議会(岐阜ブロック)を開催し、「木曽川上流の減災に係る取組方針(令和3年度～令和7年度)」のフォローアップ等を行いました。各機関の令和6年度における取組結果のフォローアップ、木曽川上流水防災協議会における課題を踏まえた取組事例(各務原市、大垣市、羽島市、美濃加茂市、可児市、輪之内町、木曽川上流河川事務所)、また令和7年4月に行われた輪之内町内福祉施設において実施された避難訓練の記録動画についても共有しました。

- 日 時： 令和7年5月29日(木) 10:00～11:00
- 場 所： WEB会議
- 出席者： 42機関(県、市町、気象台等 約50名)
- 議 事： 1) 規約改定(案)
- 2) 「木曽川の減災に係る取組方針」令和6年度のフォローアップについて
  - ① 令和6年度の取組結果のフォローアップ
  - ② 令和5年度 住民防災意識調査アンケート結果
  - ③ 木曽川上流水防災協議会における課題を踏まえた取組事例の紹介
    - ・ 木曽川上流河川事務所からの事例紹介
    - ・ 各市町における重要な取組の紹介



▲ 当日の配布資料(抜粋)



▲ 事務局の様子

## 木曽川上流河川事務所からの取組事例の紹介

## 【要配慮者福祉施設の避難訓練に関わる講習会の実施】

- ・ 令和7年2月5日(水)に輪之内町の浸水氾濫区域内にある要配慮者福祉施設において避難の実行性の向上に向け、施設タイムラインによる図上訓練による講習会を実施。
- ・ これにより、施設全体での防災意識向上に寄与することができた。



▲ 講習会の様子

## 【防災意識向上に向けた広報活動の試行】

- ・ 防災意識向上に向けた広報活動の試行として、防災イベントに参加し、防災アニマル診断及び防災施設等認知度調査に関わるアンケートを実施。
- ・ これにより、参加者の興味・関心を引くことができ、展示に入る前後でアンケートを行ったことで、イベント参加者の防災意識レベルが上がったことが確認できた。



▲ 広報活動の様子

## 【水防災教育の促進について】

- ・ 教育委員会と連携した、小・中学校への防災教育の幅広い推進による水防災意識のPhaseのワンランクアップを目的に、Webアンケートの実施及び「防災アニマル診断⇒マイ・タイムライン作成」の流れで災害・避難カードを活用した出前講座を実施。
- ・ 出前講座の実績を踏まえ、防災教育ポータルサイトに改善した「災害・避難カード」を追加し、チラシの内容について更新した。



▲ 出前講座の様子

## 【排水活動支援ツールについて】

- ・ 実際の災害に、臨機応変に対応するための事前準備として「排水活動支援ツール」を構築。
- ・ これにより、より発生頻度が高い降雨規模にも柔軟に対応できるようになった。



▲ 排水活動支援ツール

## 【市町の取組事例の紹介】

## 【各務原市】防災ひとづくり講座の実施

- 継続的に各地域で「防災リーダー」を育成するため、防災ひとづくり講座を実施している。（今年度は2日間で実施：自然災害と対策、ボランティアセンター受付模擬演習、等）
- 「防災リーダー」を育成することで、各地域において継続的かつ活発な防災活動を行うことが可能となり、地域防災力の向上が期待できる。



▲災害ボランティアセンター受付模擬演習の様子

## 【大垣市】おおがき防災フェス(総合防災訓練)の実施

- 市及び防災関係機関の協力、連携体制の確立を図るとともに、市民の防災行動力の向上と防災意識の高揚を図るために、地域住民対象の避難参集訓練やVRによる浸水体験等を実施した。
- 防災DXを活用した、避難所受付支援システムの市民に対しての普及啓発や、インフラ事業者と市民の協働(炊き出し訓練)により、平時からの顔の見える関係の構築や、若い世代の参加により、次世代の防災リーダーの育成が期待できる。



▲避難所受付支援システムを活用した受付訓練

## 【羽島市】防災教育の実施

(防災じぶんごとワークショップ、学生防災研修等)

- 市民全員で取り組む、羽島市での災害に必要な防災のルール(条例)を作成した。
- ワークショップ形式で、被災する想定のもと条件付与を行い、災害を「じぶんごと」としてとらえ、事前の備えと発災時の行動等を考える。(30回開催、参加者1,376人、意見8,000件超)
- 意見の多くは「自助」、次に「共助」であり、それらの意見を基に「命と暮らしを守る羽島市民の防災減災条例」を制定し、「自分の命は自分で守る」という意識の醸成を図っている。



▲防災教育の様子

## 【美濃加茂市】防災士養成講座の実施

- 防災について学ぶ場を連携して提供することにより、地域住民の防災意識の向上、人材の育成及び活動できる体制を構築した。
- 加茂圏域(市・加茂郡)の住民を対象に、防災士養成講座を開催。防災士資格を取得を目指す。
- 令和6年度は圏域28人が防災士資格を取得。災害に対する正しい知識や技術を習得したことで、地域における自主防災活動や災害時の救護救援活動等の活躍が期待できる。



▲防災士養成講座の様子(座学)

## 【可児市】防災リーダー養成講座・スキルアップ講座を開催

- 地域の「防災リーダー」を養成ために防災の第一線で活躍する研究者や関係機関、防災ボランティアを講師とした養成講座を開催し、日本防災士機構が実施する防災士資格取得試験を受験の推進している。(平成24年～令和6年度までに422名の防災士を育成)また、資格取得後も防災士のためのスキルアップ講座を開催し、バックアップをしている。



▲防災リーダー養成講座の様子

## 【輪之内町】要配慮者福祉施設の避難訓練の実施

- 2月の講習会で施設タイムラインシートの作成等を実施。講習会での経験を活かしながら実際に4月に避難訓練を実施した。
- タイムラインシートを活用することでより実情に沿った訓練内容となり、施設職員、入居者のさらなる防災意識の向上に繋がった。
- 今回の取組を好事例として、他の町内福祉施設に周知し、避難訓練の充実を図る。



▲垂直避難の様子